

昭和57年度講演会講演要旨

昭和57年度には下記のテーマで2回の講演会がおこなわれた。特に第1回目の講演会は、札幌市教育文化財団、札幌市、札幌市教育委員会が雪氷学会北海道支部の希望を全面的に受け入れて企画された「教文、学会公開講座」の一環としておこなわれた。大学公開講座が市民に開かれたものであるように、市民の方がたに学会活動の一端を知ってもらおうと共に共通の問題を考える場を持ち得たことは、きわめてよることばしいことであった。

開催時間が午後6時30分～8時ということもあり、学会員に対しては受講料無料という特典があったにもかかわらず、あまり多くの参加が得られなかったのは残念であった。しかしまた、仕事を終えた市民の方々が熱心に受講される様子をみるにつけ、「雪・氷・寒さ」についての関心の深さを思い知らされ学会員としての責任を感じるひとときでもあった。

第2回講演会は、11月24日、北大低温研の酒井教授を講師に招き、北大百年記念会館でおこなわれた。氏が長年にわたり一貫して研究を続けられた「植物の耐凍性」に関する講演には学会以外の方々も含め、多くの参加を得ることができた。

講師の先生がたはじめ、多大な御協力を賜った札幌市教育文化財団はじめ、関係諸機関に感謝する次第です。

* * * * *

講演会 ①

「教文・学会公開講座」

昭和57年9月28日 18時30分～20時

演題 「南極におけるヒトの適応能について」

講師 蜂須賀 弘 久 氏(京都教育大学)

昭和57年10月6日 18時30分～20時

演題 「寒さと雪氷現象 —雪害について—」

講師 秋田谷 英 次氏(北大低温研)

会場 札幌市教育文化会館

講演会 ②

昭和57年11月24日 13時30分～16時

演題 「植物の耐凍性と寒冷適応」

講師 酒 井 昭氏(北大低温研)

会場 北海道大学百年記念会館